



《SP4:The Specter—Arabesque woman with a heart》
SP4:ザ・スペクター—心臓を持つ唐草女》
2009年 高松市美術館蔵



《SP extra: Leatherface is Sculptor "World is Beautiful"》
SP extra:レザーフェイス・イズ・スカulpter "ワールド・イズ・ビューティフル"》
2007年 作家蔵



《SP4:The Specter—What wanders around in every mind》
SP4:ザ・スペクター—全ての人の脳内で徘徊するもの》
2009年 作家蔵

井原市が生んだ近代木彫界の巨匠・平櫛田中^{ひらくしでんちゆう}(1872—1979)が百寿の際、彫刻界の発展を願い、自らの浄財の寄付によって設けた「平櫛田中賞」が今回で25回目を迎えました。

小谷元彦氏^{おだにもとひこ}は1972年京都市に生まれ、1991年東京芸術大学彫刻科に入学。1997年同大学院修了後は、2005年に同大学・先端芸術表現科・助教授(2007年以降、准教授)に就任しました。

在学中より逸材として知られ、個展やグループ展への出品作は1作ごとに注目を集めてきました。2003年には現代美術の檜舞台であるヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表の一人として選ばれるなど国際的な活躍を続けています。

2010年から2011年にかけて開催された全国巡回の個展「幽体の知覚展」^{じゆし}では、樹脂、木彫、写真、映像などあらゆる素材と手法で彫刻の可能性を探求し続けた約15年間の軌跡が一室に展示され、圧倒的な空間を作り上げていました。

驚異的な迫真性をもって、見えない「ファントム」(幽体、幻影、自分の中の他者)を視覚化し、精神や時間の変容、変異、深層心理、恐怖や痛覚、笑いまでも、異形の美^{いぎよう}に昇華させた妖しくも魅力的な作品の数々。本展の展覧会名にある「SP」(Sculpture Project)は「彫刻というメディアに新たな可能性を吹き込み、蘇生させると同時に、愛をもってトドメを刺す」と宣言し、2007年から2009年にかけて制作した、近代日本の彫刻とは何かを思索したシリーズです。日本の伝統の木彫や工芸への関心を示した「SP1」、「番外、特別」を意味する「SPエクストラ」、日本近代彫刻はゾンビのように死んでいるのに生きながらえていると考え、その再解釈を試みた「SP4」。本展では、「SP」シリーズから、2メートルを超す大作《SP4:The Specter—What wanders around in every mind》など、作者自選の近作を展示いたします。



《SP extra>About the Human Face Stone / SP extra:人面石に就て》
2007年 作家蔵



《SP extra>About the Human Face Stone—Gold Seal Style / SP extra:人面石に就て一金印風》
2007年 作家蔵



《SP extra:Malformed Noh Mask Series Half Skeleton's Twins:Tosaka / SP extra:畸形脳面集 半骸幽女 双生児—鶏冠》
2008年 作家蔵

EVENT — イベント —

◎小谷元彦アーティストトーク <聴講無料・事前申込不要>
アーティストが自身の作品や展覧会のテーマ「SP0」について語ります。
日時:平成24年1月27日|金|11:00~12:00
会場:井原市民会館 鏡獅子の間

◎担当学芸員によるギャラリートーク <要・入館料>
展覧会の解説案内をいたします。
日時:平成24年2月8日|水|13:30~
平成24年3月7日|水|13:30~
会場:特別展示室

- [アクセス]
- 井原線 井原駅より徒歩15分
 - 岡山からJR伯備線(清音乗り換え)~井原線で井原駅下車 所要時間約60分
 - 福山からJR福塩線(神辺乗り換え)~井原線で井原駅下車 所要時間約35~50分
 - 新幹線ご利用の場合は、JR岡山駅またはJR福山駅で下車となります。
 - JR笠岡駅前より井笠バス井原行(所要時間約30分) 駅前通り下車 徒歩約5分
 - 山陽自動車道 笠岡インターより20分
- ※井原線時刻表は、井原線ホームページ、駅前探検倶楽部などで検索できます。

